

第64期 報 告 書

平成21年4月1日から平成22年3月31日まで

- 1P 株主の皆様へ
全体最適経営の基盤固めに努め、
新たな成長を目指すOUGグループ
- 3P 進化し続けるOUGグループ
 - ・株式会社兵殖
「兵殖本マグロ」本年1月に初出荷!
 - ・株式会社シヨクリュー
通販事業「食材の流儀」本年6月より本稼働!
- 5P 財務の概況
- 7P 会社情報
株式の状況
- 8P Information
株主優待制度



取締役社長

谷川 正俊

株主の皆様には、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、当社第64期（平成21年4月1日から平成22年3月31日まで）の事業および財務の概況のご報告を申し上げます。

平成22年6月

事業の経過およびその成果

当期におけるわが国経済は、新興国向けの輸出がけん引し景気は持ち直しているものの、企業収益の改善が国内の設備投資や雇用を増やす好循環が生まれる自律的回復には至っておらず、雇用・所得環境は厳しく、デフレの状態のなか、個人消費は総じて低迷したまま推移いたしました。

水産物流通業界におきましては、景気の先行き不安から消費者の購買意欲は低く、低価格化の進行、販売競争の激化など非常に厳しい経営環境下にありました。

このような環境にあって、当社グループは、全体最適のグループ経営のもと、販売力・調達力の強化、顧客起点志向の追求、地域に対応したソリューションの提供、業務の効率化、諸経費の削減などに注力し積極的な事業活動を展開してまいりました。

業績につきましては、当連結会計年度の売上高は販売数量の確保に注力したものの、販売単価の低下などにより3,174億82百万円（前年同期比93.6%）と減収となりました。事業部門別では、卸売市場における水産物卸売部門は1,937億67百万円（前年同期比94.7%）、卸売市場以外での水産物卸売部門は1,170億21百万円（前年同期比90.4%）、その他66億93百万円（前年同期比132.4%）となりました。

損益面では、売上総利益は233億7百万円（前年同期比102.4%）となりました。営業利益は販売費及び一般管理費全般について削減等効率化を進め8億52百万円（前年同期40百万円）となり、

全体最適経営の基盤固めに努め、 新たな成長を目指すOUGグループ

經常利益は12億32百万円(前年同期比253.8%)となりました。当期純利益は減損損失74百万円などの特別損失の計上により8億53百万円(前年同期13億58百万円の純損失)となりました。

なお、事業の種類別セグメントの業績は次のとおりであります。

<水産物卸売事業>

中央卸売市場を核とする集荷販売機能と全国各地を網羅する販売拠点を活かした幅広い流通網をもつ水産物卸売事業の売上高は販売単価の低下などにより3,121億98百万円(前年同期比93.1%)、営業利益は販売費及び一般管理費全般について削減等効率化を進め9億82百万円(前年同期9百万円)となりました。

<食品加工事業>

消費地にある鮮魚加工センターにて輸入サーモンのフィレ加工およびハマチ、ブリ等の鮮魚加工、量販店向けにおにぎり等米飯加工などを行う食品加工事業の売上高は低価格化や販売競争の激化などにより36億80百万円(前年同期比94.3%)、営業利益は売上高の減少や主要製品の原材料価格の高騰などにより3億11百万円の損失(前年同期2億69百万円の損失)となりました。

なお、当連結会計年度よりセグメント名称を「水産物加工事業」から「食品加工事業」に変更しております。

<養殖事業>

九州、四国にてハマチ、ブリを主力に養殖を展開する養殖事業では、売上高は販売数量の増加により67億40百万円(前年同期比108.9%)となり、営業利益は給餌効率の改善や諸経費の削減に努めましたが1億38百万円(前年同期比98.7%)となりました。

<その他の事業>

グループの水産物流通を補完する物流・配送事業等その

他の事業の売上高は21億72百万円(前年同期比84.6%)、営業利益は73百万円の損失(前年同期12百万円の損失)となりました。

対処すべき課題

今後の見通しにつきましては、設備投資、雇用・所得環境の回復の遅れ、デフレの長期化、円相場の変動、原油価格の上昇など景気回復に向けて先行き不透明な状況にあります。

水産物流通業界におきましては、消費者の購買意欲は低迷したまま、低価格化が進むなど厳しい経営環境下にあると予測されます。

このような経営環境に対応するために、当社グループは、継続して、コア事業である「荷受事業」および「市場外事業」ならびにコア事業を支える「食品加工事業」、「養殖事業」、「物流事業」、「保険・リース事業」の更なる連携強化を行い、相乗効果の発揮などにより競争優位を構築してまいります。

この方針のもと、当社グループは、グループ連携による相乗効果の具現化に向けて、グループ内の加工機能、物流機能の強化を推進し、グループ情報基盤の整備や新人事制度の定着などにより、全体最適経営の基盤固めに努めるとともに新たな成長を目指してまいります。

当社グループは、生産者から消費者までの水産物流通のトータルシステムである新しい水産物流通サービス業を創造し、消費者に安全・安心を提供することにより、社会に貢献することを通じて企業価値を最大化してまいります。

株主の皆様におかれましては、今後とも一層のご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

株式会社 兵殖

「兵殖本マグロ」本年1月に初出荷！

株式会社兵殖は、九州、四国地方に7つの漁場を有し、ブリの生産から加工・販売までを一貫して行っております。同社の「ひろびろいけす（通常のいけすの約50倍の大きさ）」で育てられたブリは、ほどよく脂が乗り、身が締まっていると、業界で高い評価を受けております。

この株式会社兵殖が、技術的に困難とされていた本マグロの養殖に、平成19年から本格的に取り組み、長崎県大島漁場で育てた本マグロを本年1月に初出荷しました。

同社が手がける本マグロは、上質な脂質に仕上げるのはもちろんのこと、上質な赤身に仕上げることに重点を置いています。

また、同社では、市場での評価や末端の情報を漁場にフィードバックし、さらなる品質向上に努め、国内販売のみならず、海外への輸出も視野に入れております。

同社は養殖魚について、天然魚の代替ではなく、天然魚の品質を越す魚を作り上げることだと考えております。単に美味しい、安全というだけでなく、健康に良いといった機能食品にまで付加価値を高めたいと考えております。



兵殖大島漁場（長崎県）



兵殖本マグロ



脂が乗り、赤身の品質も高い「兵殖本マグロ」

アメリカン・マスター・オブ・ティスト（アメリカ・味の達人）金賞受賞！

本年3月、同社のひろびろいけすブリが、養殖ブリでは初めて、アメリカ最大の食品審査機関であるAMT（アメリカン・マスター・オブ・ティスト）の金賞を受賞しました。



授賞式にて表彰状を受取る角田社長

株式会社 ショクリュー

通販事業「食材の流儀」本年6月より本稼働！

株式会社ショクリューは、食品流通サービス業者として、これまで長年に亘り培ってきた豊富な経験とノウハウを活かし、食材の通信販売事業「食材の流儀」を本年6月1日に立ち上げました。

一般消費者の方々を対象に、季節ごと年4回の通販カタログを発行し、また、インターネットにおいては随時、商品を更新できるようオリジナルの通販サイトを開設いたしました。お中元やお歳暮のギフトシーズンだけではなく、皆様の日常の食卓にお届けできる商品の通年販売を行います。

商品は、同社グループが得意とする水産物を中心に、全国から「こだわり」の品を厳選いたしております。

「食材の流儀」では、お客様第一主義をモットーに5つの基本姿勢を定め、安全・安心でご満足いただける商品のご提供に努めてまいります。



「食材の流儀」5つの基本姿勢

一. 季節の旬食材を

春夏秋冬、それぞれの季節に漁獲、収穫された旬の新鮮食材を、一番おいしい時に届けさせていただきます。

二. 全国のこだわり食材を

日本各地の漁港や産地との繋がり、また、地域に密着した全国に所在する営業所のネットワークを活かし、こだわりのある食材を紹介させていただきます。

三. 安全、安心食材を

品質管理、衛生管理の行き届いた生産者、製造者の食材を、厳しい管理基準の下、皆様のご家庭に提供させていただきます。

四. ご家庭においしさを

長年、食材の販売に携わってきたプロの目利き人が、心からおいしいと思う厳選した食材のみを、提案させていただきます。

五. 丁寧なおもてなしを

お買い求めいただくお客様に対しまして、お客様の立場となり、おもいやりのあるおもてなしをさせていただきます。

「大分」豊後かれい



「福井」若狭ぐじ

天然本マグロ
大トロ・中トロ



時鮭 姿切り

食べるラー油



「北海道」本ししゃも丸干し(オス)

詳しくは、インターネットでご覧いただけます。

<http://www.shoku-ryu.jp/>

お問い合わせ窓口「食材の流儀 お客様センター」

☎ 0120-664-960

財務の概況

連結貸借対照表

(単位:百万円)

| 科 目 | 期 別 | (単位:百万円) | |
|-----------------|-----|-----------------------|-----------------------|
| | | 当 期 〔平成22年3月31日現在〕 | 前 期 〔平成21年3月31日現在〕 |
| 資産の部 | | | |
| 流 動 資 産 | | 44,011 | 48,684 |
| 現金及び預金 | | 2,586 | 2,221 |
| 受取手形及び売掛金 | | 26,750 | 27,869 |
| リース債権及びリース投資資産 | | 19 | 117 |
| 商品及び製品 | | 14,221 | 16,961 |
| 仕掛品 | | 4 | 6 |
| 原材料及び貯蔵品 | | 118 | 80 |
| 繰延税金資産 | | 420 | 407 |
| その他 | | 812 | 1,978 |
| 貸倒引当金 | | △ 922 | △ 959 |
| 固 定 資 産 | | 21,219 | 19,726 |
| 有 形 固 定 資 産 | | 12,516 | 12,174 |
| 建物及び構築物 | | 3,600 | 3,767 |
| 機械装置及び運搬具 | | 1,164 | 1,079 |
| 工具、器具及び備品 | | 177 | 175 |
| 土地 | | 7,105 | 7,069 |
| リース資産 | | 468 | 82 |
| 無 形 固 定 資 産 | | 1,771 | 561 |
| 投 資 そ の 他 の 資 産 | | 6,932 | 6,990 |
| 投資有価証券 | | 5,655 | 5,470 |
| 関係会社株式 | | 131 | 202 |
| 長期貸付金 | | 181 | 853 |
| 破産更生債権等 | | 1,692 | 1,889 |
| 繰延税金資産 | | 182 | 390 |
| その他 | | 852 | 853 |
| 貸倒引当金 | | △ 1,764 | △ 2,668 |
| 資 産 合 計 | | 65,231 | 68,410 |

(単位:百万円)

| 科 目 | 期 別 | (単位:百万円) | |
|-----------------|-----|-----------------------|-----------------------|
| | | 当 期 〔平成22年3月31日現在〕 | 前 期 〔平成21年3月31日現在〕 |
| 負債の部 | | | |
| 流 動 負 債 | | 42,745 | 44,435 |
| 支払手形及び買掛金 | | 17,798 | 18,240 |
| 短期借入金 | | 20,831 | 22,841 |
| リース債務 | | 420 | 16 |
| 未払法人税等 | | 211 | 155 |
| 未払消費税等 | | 308 | 29 |
| 賞与引当金 | | 689 | 719 |
| その他 | | 2,486 | 2,430 |
| 固 定 負 債 | | 8,366 | 10,431 |
| 長期借入金 | | 2,042 | 5,241 |
| リース債務 | | 1,718 | 458 |
| 繰延税金負債 | | 396 | 345 |
| 再評価に係る繰延税金負債 | | 433 | 433 |
| 退職給付引当金 | | 2,311 | 2,089 |
| 役員退職慰労引当金 | | 42 | 30 |
| 負ののれん | | 800 | 1,193 |
| 長期未払金 | | 187 | 203 |
| その他 | | 433 | 435 |
| 負 債 合 計 | | 51,112 | 54,866 |
| 純資産の部 | | | |
| 株 主 資 本 | | 14,025 | 13,574 |
| 資本金 | | 6,495 | 6,495 |
| 資本剰余金 | | 6,153 | 6,153 |
| 利益剰余金 | | 1,596 | 1,142 |
| 自己株式 | | △ 220 | △ 217 |
| 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | | 90 | △ 33 |
| その他有価証券評価差額金 | | 466 | 342 |
| 繰延ヘッジ損益 | | 1 | 1 |
| 土地再評価差額金 | | △ 377 | △ 377 |
| 少 数 株 主 持 分 | | 2 | 2 |
| 純 資 産 合 計 | | 14,119 | 13,543 |
| 負 債 ・ 純 資 産 合 計 | | 65,231 | 68,410 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

財務の概況

連結損益計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 期 別 | 当 期 | 前 期 |
|---------------------------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | [自平成21年4月1日 至平成22年3月31日] | [自平成20年4月1日 至平成21年3月31日] |
| 売 上 | 高 | 317,482 | 339,042 |
| 売 上 原 価 | | 294,175 | 316,282 |
| 売 上 総 利 益 | | 23,307 | 22,760 |
| 販 売 費 及 び 一 般 管 理 費 | | 22,455 | 22,719 |
| 営 業 利 益 | | 852 | 40 |
| 営 業 外 収 益 | | 778 | 895 |
| 受取利息 | | 13 | 24 |
| 受取配当金 | | 83 | 149 |
| 負のれん償却額 | | 392 | 410 |
| 持分法による投資利益 | | 1 | — |
| その他 | | 287 | 311 |
| 営 業 外 費 用 | | 397 | 450 |
| 支払利息 | | 287 | 346 |
| 持分法による投資損失 | | — | 3 |
| その他 | | 110 | 100 |
| 経 常 利 益 | | 1,232 | 485 |
| 特 別 利 益 | | 22 | 55 |
| 投資有価証券売却益 | | 22 | — |
| リース資産処分損引当金戻入額 | | — | 55 |
| 特 別 損 失 | | 134 | 955 |
| 減損損失 | | 74 | 83 |
| 関係会社株式評価損 | | 30 | — |
| 固定資産除却損 | | 30 | — |
| 投資有価証券評価損 | | — | 369 |
| 関係会社貸倒引当金繰入額 | | — | 271 |
| その他 | | — | 231 |
| 税金等調整前当期純利益又は 税金等調整前当期純損失(△) | | 1,120 | △ 414 |
| 法人税、住民税及び事業税 | | 142 | 146 |
| 法 人 税 等 調 整 額 | | 123 | 793 |
| 法 人 税 等 合 計 | | 265 | 939 |
| 少 数 株 主 利 益 | | 1 | 3 |
| 当期純利益又は当期純損失(△) | | 853 | △ 1,358 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結株主資本等変動計算書

当期 (自平成21年4月1日 至平成22年3月31日) (単位:百万円)

| | 株 主 資 本 | | | | |
|-------------------------------|---------|-----------|-----------|---------|-------------|
| | 資 本金 | 資 本 剰 余 金 | 利 益 剰 余 金 | 自 己 株 式 | 株 主 資 本 合 計 |
| 平成21年3月31日残高 | 6,495 | 6,153 | 1,142 | △ 217 | 13,574 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | |
| 剰 余 金 の 配 当 | | | △ 328 | | △ 328 |
| 当 期 純 利 益 | | | 853 | | 853 |
| 連 結 範 囲 の 変 動 | | | △ 71 | | △ 71 |
| 自 己 株 式 の 取 得 | | | | △ 2 | △ 2 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額) | | | | | |
| 連結会計年度中の変動額合計 | — | — | 453 | △ 2 | 451 |
| 平成22年3月31日残高 | 6,495 | 6,153 | 1,596 | △ 220 | 14,025 |

| | 評 価 ・ 換 算 差 額 等 | | | | 少 数 株 主 持 分 | 純 資 産 合 計 |
|-------------------------------|------------------|--------------|----------------|----------------|-------------|-----------|
| | その他有価証券 評価差額金 | 繰延ヘッジ 損 益 | 土地再評価 差 額 金 | 評価・換算 差額等合計 | | |
| 平成21年3月31日残高 | 342 | 1 | △ 377 | △ 33 | 2 | 13,543 |
| 連結会計年度中の変動額 | | | | | | |
| 剰 余 金 の 配 当 | | | | | | △ 328 |
| 当 期 純 利 益 | | | | | | 853 |
| 連 結 範 囲 の 変 動 | | | | | | △ 71 |
| 自 己 株 式 の 取 得 | | | | | | △ 2 |
| 株主資本以外の項目の連結 会計年度中の変動額(純額) | 124 | 0 | | 124 | 0 | 124 |
| 連結会計年度中の変動額合計 | 124 | 0 | — | 124 | 0 | 575 |
| 平成22年3月31日残高 | 466 | 1 | △ 377 | 90 | 2 | 14,119 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

| 科 目 | 期 別 | 当 期 | 前 期 |
|---------------------------|-----|-----------------------------|-----------------------------|
| | | [自平成21年4月1日 至平成22年3月31日] | [自平成20年4月1日 至平成21年3月31日] |
| I. 営業活動によるキャッシュ・フロー | | 6,223 | 1,961 |
| II. 投資活動によるキャッシュ・フロー | | △ 284 | △ 402 |
| III. 財務活動によるキャッシュ・フロー | | △ 5,655 | △ 2,009 |
| IV. 現金及び現金同等物に係る換算差額 | | — | — |
| V. 現金及び現金同等物の増減額(△は減少) | | 283 | △ 449 |
| VI. 現金及び現金同等物の期首残高 | | 2,206 | 2,656 |
| VII. 新規連結に伴う現金及び現金同等物の増加額 | | 80 | — |
| VIII. 現金及び現金同等物の期末残高 | | 2,571 | 2,206 |

注記事項 記載金額は、百万円未満を切り捨てて表示しております。

OUGホールディングス株式会社

会社概要

主要な事業内容 定款に定められた事業を営むこと、ならびに定款で定められた事業を営む会社およびこれに相当する事業を営む外国会社の株式もしくは持分を保有することにより、当該会社の事業活動を支配、管理することおよびこれに関連する業務を行うことを目的としております。

設立 昭和21年6月12日(創業 昭和22年10月)
資本金 6,495百万円
発行済株式総数 55,622,921株
従業員数 23名

役員 の体制

| | | |
|------|-------------------|-----------------|
| 取締役 | 代表取締役社長 | 溝 上 源 二 |
| | 取締役専務執行役員 | 谷 川 正 俊 |
| | 取締役 | 下 川 真 二 |
| | 取締役 | 村 松 保 範 |
| | 取締役 | 竹 西 俊 之 助 |
| | 取締役 | 三 輪 光 幸 |
| 取締役 | 久 井 恵 之 助 (社外取締役) | |
| 監査役 | 常勤監査役 | 谷 和 道 雄 |
| | 監査役 | 村 中 義 美 (社外監査役) |
| | 監査役 | 岡 本 宏 孝 (社外監査役) |
| 執行役員 | 常務執行役員 | 薄 波 卓 郎 |
| | 常務執行役員 | 原 田 史 郎 |
| | 常務執行役員 | 草 場 裕 樹 |
| | 常務執行役員 | 中 江 一 夫 |
| | 執行役員 | 角 田 晴 夫 |
| | 執行役員 | 玉 田 耕 也 |

株式の状況

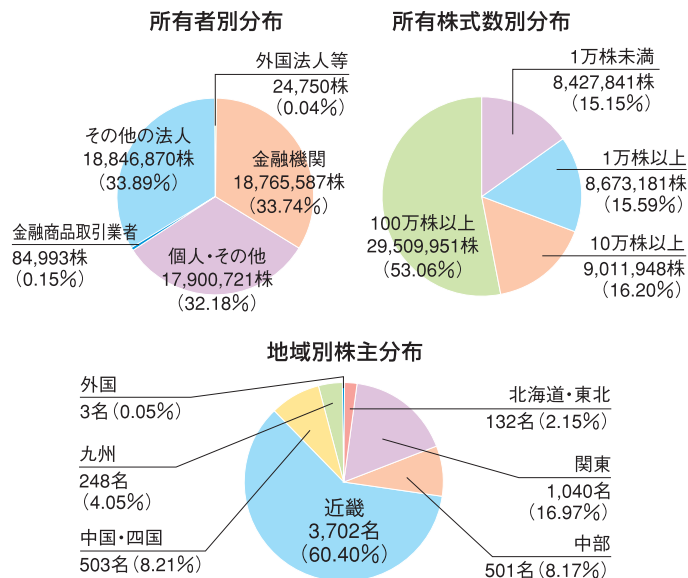
| | |
|----------|--------------|
| 発行可能株式総数 | 209,159,000株 |
| 発行済株式の総数 | 55,622,921株 |
| 株主数 | 6,129名 |

大株主(上位10名)

| 株主名 | 持株数(千株) | 持株比率(%) |
|---|---------|---------|
| 株式会社 マルハニチロホールディングス | 5,825 | 10.54 |
| 日本生命保険相互会社 | 3,680 | 6.66 |
| 農林中央金庫 | 2,636 | 4.77 |
| 株式会社みずほ 銀行 | 2,581 | 4.67 |
| 丸紅 株式会社 | 2,000 | 3.62 |
| 株式会社りそな銀行 | 1,842 | 3.33 |
| 株式会社 三菱東京UFJ銀行 | 1,742 | 3.15 |
| 株式会社 マルハニチロ水産 | 1,625 | 2.94 |
| 日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (中央三井アセット信託銀行再信託分・CMTB エクイティンベストメンツ 株式会社信託口) | 1,600 | 2.89 |
| 三菱UFJ信託銀行 株式会社 | 1,519 | 2.75 |

(注)持株比率は、自己株式(333,438株)を控除して計算しております。

株式分布



当社は、株主の皆様の日頃のご支援にお応えするとともに、当社株式への投資魅力を高め、中長期的に保有していただける株主様の増加を図ることを目的として、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度

(1) 対象株主様

毎年9月末日現在の株主名簿に記載または記録された、1単元(1,000株)以上の株式を保有していただいている株主様を対象といたします。

(2) 優待の内容

- 1,000株以上5,000株未満ご所有の株主様へ3,500円相当の水産加工品を贈呈
- 5,000株以上ご所有の株主様へ7,000円相当の水産加工品を贈呈
数種類の品目より選択していただきます。

(3) 贈呈時期

毎年、12月上旬を予定しております。

昨年、ご好評いただいた優待商品のうち代表的なもの。



唐津ひもの詰合せ

(3,500円相当)



ほたて貝柱



汐紅鮭 姿切

(7,000円相当)



ずわいかにしゃぶ

単元未満株式の買取請求について

(1) 買取請求について

単元株(当社の場合 1単元:1,000株)に満たない株式を、発行会社に対して市場価格にてその株式を買取
るよう請求することができます。

(2) 買取請求の手続きについて

株主様の口座のある証券会社にお申し出ください。

なお、ご所有の単元未満株式が特別口座に記録されている場合は、特別口座管理機関である三菱UFJ
信託銀行株式会社にお申し出ください。(株主メモをご参照ください。)

株主メモ

| | |
|---------------------|---|
| 事業年度 | 4月1日から翌年3月31日 |
| 期末配当金受領株主確定日 | 3月31日 |
| 定時株主総会 | 毎年6月 |
| 株主名簿管理人 特別口座管理機関 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 |
| 同事務取扱場所 | 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部 〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号 TEL 0120-094-777 (通話料無料) |

- 株券電子化に伴い、株主様の住所変更等の各種お手続きにつきましては、口座を開設されている証券会社等にお問合せください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続き用紙のご請求につきましては、三菱UFJ信託銀行（口座管理機関）の以下のお電話およびインターネットでも24時間承っております。
 - ・ 本店証券代行部 TEL 0120-244-479 (通話料無料)
 - ・ 大阪証券代行部 TEL 0120-684-479 (通話料無料)

<http://www.tr.mufig.jp/daikou/>

| | |
|-----------|---|
| 上場金融商品取引所 | 大阪証券取引所市場第一部 (証券コード 8041) |
| 公告方法 | 電子公告の方法により行います。ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載します。 公告掲載の当社ホームページアドレス http://www.oug.co.jp |

免責条項

本報告書に掲載している将来に関する予想については、現在入手可能な情報から得られた当社の経営者の判断に基づいております。

実際の業績は、さまざまな要因の変化により、異なる場合があることをご承知おきください。

Web Information

当社HPでは、当社の最新ニュースを株主・投資家の皆様に向け、発信しております。IRニュースや決算発表を行うページ、グループ各社の紹介等、様々な情報を掲載しておりますので、是非ご活用ください。



GROUP
VISION

COMPANY
PROFILE

TOP PAGE

OUGホールディングス株式会社

〒553-0005 大阪市福島区野田2丁目13番5号
うおいちニッセイビル5階
TEL:06-4804-3031 FAX:06-4804-3145
URL <http://www.oug.co.jp>

<http://www.oug.co.jp>